

考古展

第1回

# 小さな展覧会

—昭和56年度発掘調査の成果から—

1982.7.17～7.31

財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター

## 展覧会開催にあたって

昭和56年4月に発足した財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センターは、昨年度、京都府内の各地で34件の埋蔵文化財の発掘調査を行いました。

これらの調査の結果については、現地説明会、研修会などでそのつど報告し、また、「京都府埋蔵文化財情報」、「京都府遺跡調査概報」も刊行してまいりました。しかし、ささやかではありますが出土遺物をまとめた形で展示するのは、これが初めての企画です。各時代にわたるさまざまな出土品は、平素、皆様のお目に触れることがないものであります。是非、この機会に多くの方々に御高覧いただき、ひとときを出土品の語る歴史に耳を傾けていただければ幸甚です。

昭和57年7月

財団法人  
京都府埋蔵文化財調査研究センター

理事長 福山敏男

## 目 次

展覧会開催にあたって

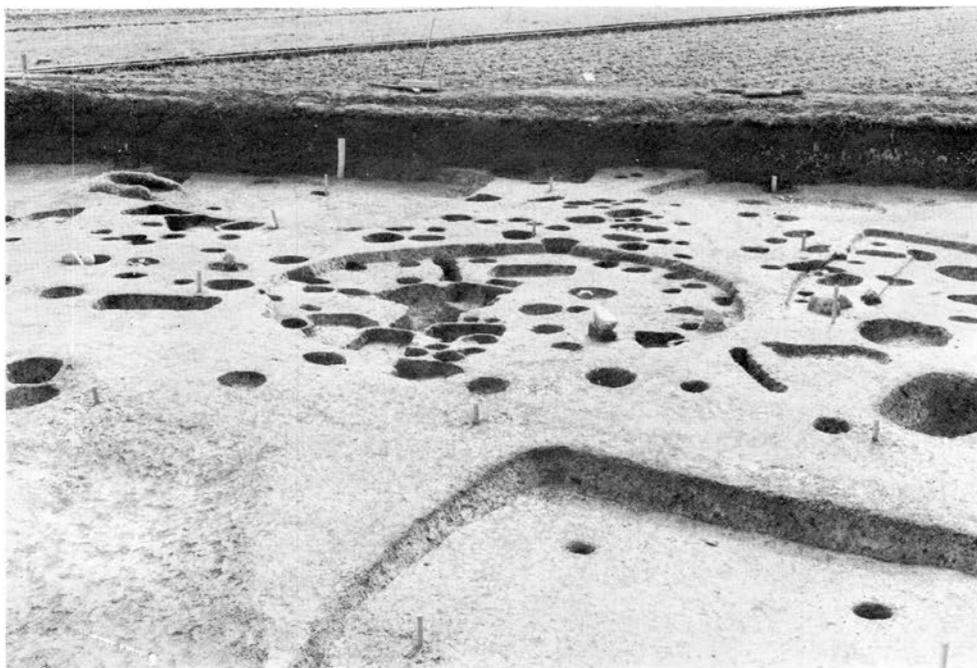
遺 跡 の 概 要	1
展示品出土遺跡位置図	33
昭和56年度調査一覧表	34
展 示 品 目 録	35

## 凡 例

1. 本パンフレットは「第1回小さな展覧会—昭和56年度発掘調査の成果から—」のために作成したものである。
2. パンフレットの遺跡配列は、丹後・丹波・山城地方に沿って年代順としたが、厳密には時代順になっていない。
3. 解説については主として、各遺跡発掘調査担当者が執筆した。
4. 遺物写真についてはスケールを統一していない。
5. 展示遺物は、当調査研究センターが保管しているので、今後とも活用していただきたい。

## 三河宮の下遺跡

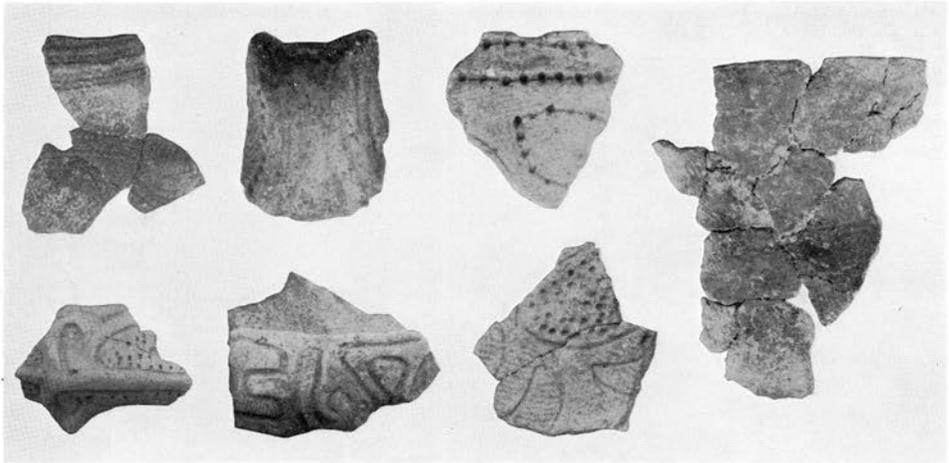
縄文時代～古墳時代  
加佐郡大江町三河字高畠



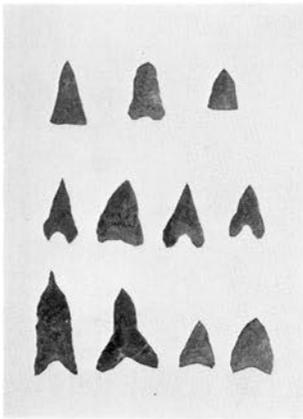
### 〔遺跡の概要〕

三河宮の下遺跡は、加佐郡大江町字三河の由良川左岸に位置する、縄文時代前期～古墳時代後期の集落遺跡です。昭和55年11月から昭和56年3月まで発掘調査が実施され、11基の円形あるいは方形の竪穴式住居跡（縄文時代後期7基・古墳時代後期4基）のほか、縄文時代の石囲い炉跡・配石遺構・多数の柱穴が検出されました。

出土遺物には、古墳時代の土師器や須恵器、縄文時代の土器や石器・装飾品等が多数出土しました。縄文時代の土器には鉢・深鉢・注口土器があり、石器類は石鏃・石錘・石斧・石匙・石錐・たたき石などバラエティに富んでいます。装飾品にはヒスイ・メノウ等の石材を利用した、耳飾や垂飾・玉などがあります。また、ヘラで両眼と口を描き、素朴な表情をもった縄文時代中期の土偶もあります。



繩文土器各種



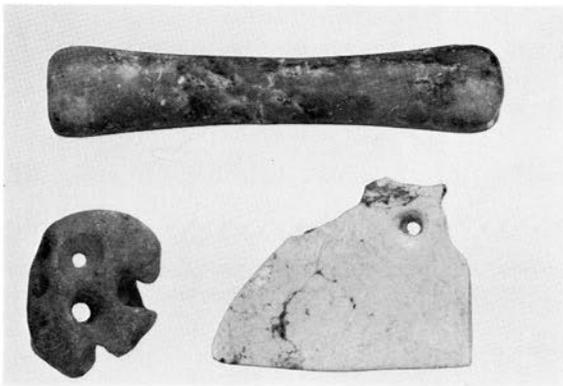
石鏃



石錘



石斧



裝身具



土偶

## 千代川遺跡

縄文時代～鎌倉時代  
亀岡市千代川町字北ノ庄



### 〔遺跡の概要〕

亀岡盆地の北西に位置する千代川遺跡は、縄文時代から鎌倉時代の大複合遺跡です。調査地は千代川町北ノ庄の南西にある段丘上で、盆地を一望にできる生活環境に適した地にあります。

検出遺構には、弥生時代末から古墳時代前期に相当すると考えられます隅丸方形の竪穴式住居跡（S B0206）があります。そのほかに方形の竪穴式住居跡が4棟あり、古墳時代前期、後期に属します。また、古墳時代～平安時代の掘立柱建物跡、溝状遺構、土壇、柱穴があります。

検出された遺構及び遺物は縄文時代晩期から鎌倉時代の長きにわたり、地区や時期によって質・量に差はありますが、中でも弥生時代末期から古墳時代の間で一旦放棄され、再び古墳時代後期から鎌倉時代へと続いたものと考えられる遺物が多く、特に竪穴式住居（S B0206）出土の庄内～布留式併行の土器は注目すべきものです。



古式土師器・壺



古式土師器・壺



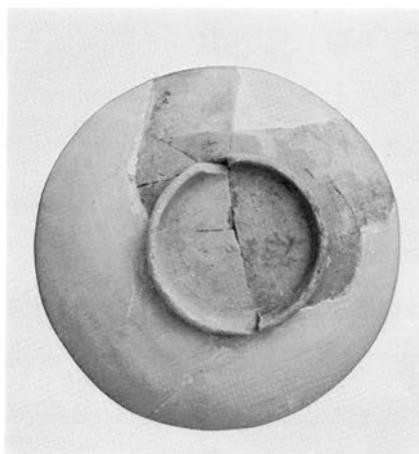
古式土師器・台付碗



古式土師器・高杯



古式土師器・小形壺



灰釉陶器・皿形墨書土器

## 南金岐遺跡

弥生時代，奈良～平安時代  
亀岡市大井町字南金岐



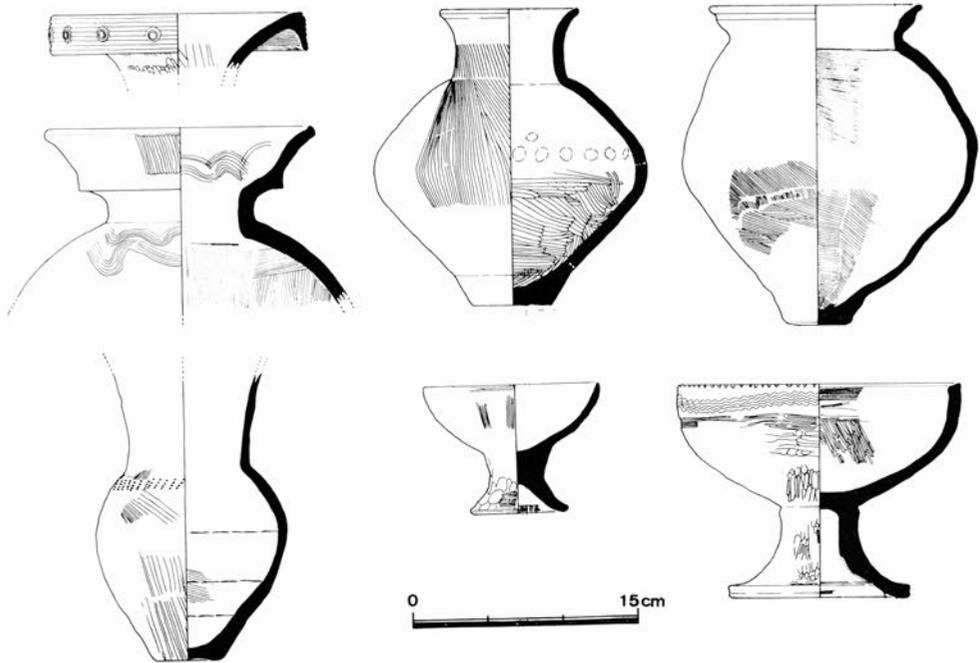
### 〔遺跡の概要〕

本遺跡は亀岡市大井町字南金岐の約2,700㎡で、東西南北の道跡や畦畔，溝などで区画された条里制が整然と並ぶ水田地帯にあります。また，南金岐の北側には行者山より東側へ延びた丘陵があり，南側より若干高い地形となっています。

検出遺構には，弥生時代中期の方形周溝墓が3基，弥生時代後期の溝状遺構が6条，奈良，平安時代の溝状遺構が8条あります。しかし，条里制に伴う溝，畦畔等は検出されませんでした。検出遺構中，注目すべきものに方形周溝墓と弥生時代後期前半から同時代末期の大量の遺物が出土した溝状遺構があります。方形周溝墓の主体部は中世時での削平により消失していましたが，周溝内から弥生時代中期の土器が出土しました。口丹波地方における方形周溝墓の検出は初めてで，溝状遺構出土の大量の弥生式土器とともに，当地方の考古学研究に資するものです。



遺物出土状況



出土遺物略測図（縮尺：1/5）

## 羽戸山遺跡

弥生時代，古墳時代  
宇治市菟道字羽戸山，五ヶ庄字一番割



### 〔遺跡の概要〕

当遺跡は，宇治市菟道，五ヶ庄両地区にまたがり，五雲峰から西へ伸びる尾根の先端部に位置します。遺跡の尾根から半独立的な2つの丘陵上とその谷間の小丘陵上にあります。

南の丘陵では，弥生時代後期の住居跡1基と土壙数基，古墳時代後期の住居跡1基等が検出されました。

南・北丘陵間の谷奥にある円形小丘陵の北裾部では，傾斜面の掘削と土の貼り付けによって成形したテラス状の遺構があり，その平坦面上から6個体の後期弥生式土器が出土しました。祭祀遺構と推定されています。

北側丘陵では同じく弥生時代後期の土壙墓群と考えられる遺構が検出されました。

当遺跡は，このように丘陵ごとに性格を異にする弥生時代後期前半の遺跡です。



弥生式土器・長頸壺



弥生式土器・長頸壺



弥生式土器・甕



土師器・甕

## 豊富谷丘陵遺跡

古墳時代，鎌倉～江戸時代  
福知山市今安・半田・新庄・笹尾



### 〔遺跡の概要〕

本遺跡は、福知山市西方の南北に細長く横たわる標高50～60mの豊富谷丘陵上に点存する墳墓や寺院跡など、およそ100基から成っています。

昭和55年から2か年にわたり調査された結果、古墳時代前期から中期に築造された墳墓が狭峻な尾根や丘陵頂部に累々と確認され、古式土師器や鉄鏃・鉄剣・鉄刀・鉈・刀子などの鉄製品とともに、中国製及び日本製の鏡や管玉の装飾品が発掘されました。出土遺物から、山陰系、北陸系、瀬戸内系、畿内系などの諸文化の様相が認められ、被葬者の社会的地位や共同体のあり方など当時の社会を復元するに貴重な資料を提供しています。

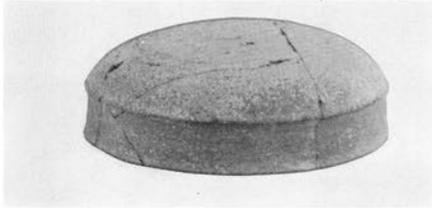
また寺院跡では、4棟の掘立柱建物跡や27基を数える中世古墳が検出され、経塚もありました。特に経塚には、軟質須恵製外容器内に青銅製経筒一口と竹製経筒（蓋と底は木製）二口が埋納されていました。竹製経筒が完形で発見されたのは本例が最初のものです。



古式土師器・器台



古式土師器・碗形土器



須惠器・杯蓋



須惠器・杯身



四乳文鏡



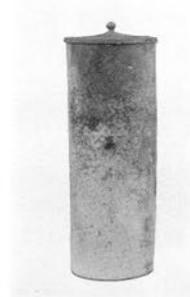
獸帶鏡片



鐵劍



軟質須惠器・甕



青銅製經筒



竹製經筒

## 宮ノ平遺跡

古墳時代  
城陽市寺田字宮ノ平，大川原



### 〔遺跡の概要〕

本遺跡は、城陽市の中央東側丘陵に広がり、府立城陽高校内にあった宮ノ平古墳群と同一丘陵内に存在します。この度の発掘調査で、古墳時代後期の一辺にカマドを設けた方形竪穴式住居跡2棟、古墳時代中期頃の土壙墓13基、方形の墳墓2基などが検出されました。

竪穴式住居跡は一辺3～4mを測り、いずれも北辺に1基のカマドを構築していました。山上憶良の貧窮問答歌の生活の一端を表現しているかのようです。

2基の方形墳墓は早くから上面を削平されていたため、何らの遺構も検出されませんが、外側を取り巻く周溝内から古墳時代中期の須恵器（杯身・杯蓋・壺・甕・甗）が一行状態で発掘され、墓前祭などの祭祀の一端を窺い知ることができます。同時期の遺構として、円筒埴輪を転用した小形埴輪棺も両墳墓の北東約80mの地点で確認されました。

主な出土遺物として、須恵器、土師器、埴輪があります。



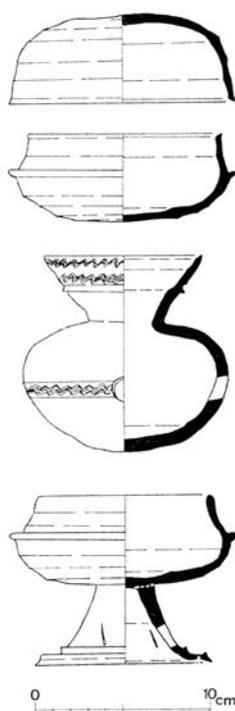
埴輪棺



周溝内遺物出土状況



遺構平面図



出土須恵器実測図

## 後 青 寺 跡

古墳時代・桃山時代  
福知山市字大内小字後正寺

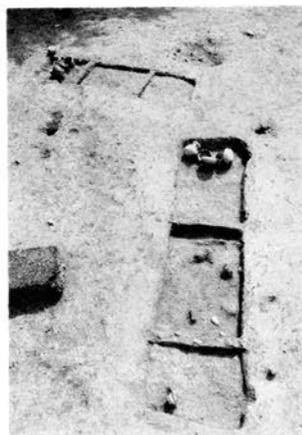


### 〔遺跡の概要〕

本遺跡は、福知山市字大内小字後正寺の東方丘陵上にあります。現地には、一辺約30mの土塁と空掘で囲まれた台形状平坦面があり、『丹波志』に記す後青寺の故地と伝えられています。

昭和56年夏に発掘調査を実施しました結果、建物跡は検出されず、近世初頭の陶磁器片が少量出土したのみです。当遺跡は、外形構造上、防禦的な性格が強く、城館跡と推定されます。

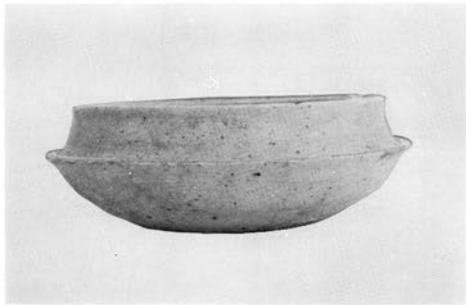
また、東側の尾根上から木棺を直葬した古墳の主体部が2基検出されました。両棺とも棺の一端に土器の一群を置き、西側の棺から鍬・刀子・鎌・斧などのやや小形の鉄製品が出土しました。城館の築造により著しく削平され、規模等不確定ではありますが、一辺13m程度の方墳と推定されます。築造時期は、出土須恵器から6世紀初めに比定でき、当地域の古墳としては古い時期に属します。



後青寺古墳主体部全景



須惠器・杯蓋



須惠器・杯身



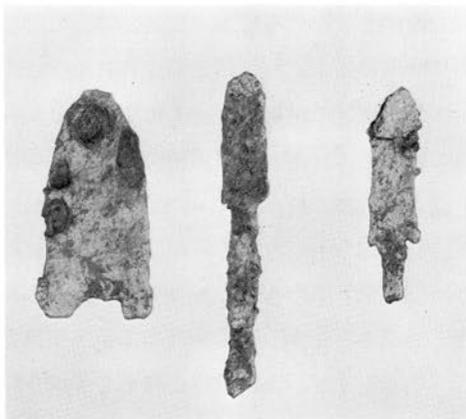
須惠器・台付蓋付壺



須惠器・甕



土師器・把手付土器



鉄 鏃

## 狐谷横穴群

古墳時代  
八幡市美濃山字狐谷

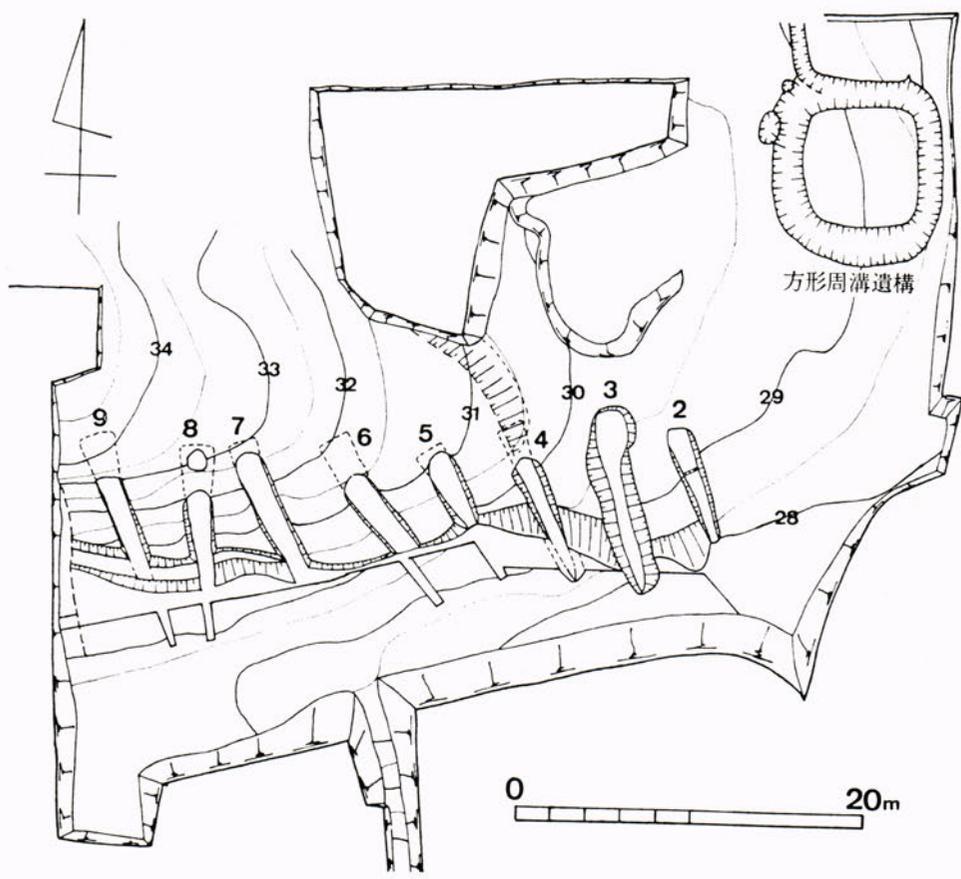


### 〔遺跡の概要〕

八幡市の東南方、京阪奈丘陵の北方端東斜面に構築された横穴群です。この付近は古く鎌倉時代から隼人の伝承があり、考古学的には京都府下では横穴群の密集地帯として著名なところでもあります。

この度の発掘調査で、地盤の砂質土・砂礫土を削り抜いて、墓道・玄門・玄室を設けた横穴が8基検出されました。横穴は平面台形状で、大阪や奈良に分布する家形をなす横穴とは趣きを異にしていますし、規模も大小様々です。玄室や玄門には多数の副葬品とともに人骨が埋納されていました。

副葬品は主として須恵器と土師器ですが、鉄刀・鉄鏃の鉄製品や金環などもあります。これら出土遺物からこの横穴群は6世紀末から7世紀初頭にかけて短期間のうちに順次構築・埋葬されたものと推定されます。その後、時間をおいて再利用されたことも分かりました。この横穴群とは別に一辺約10mの方形周溝遺構が、北東方テラス上で確認されました。



横穴群平面図



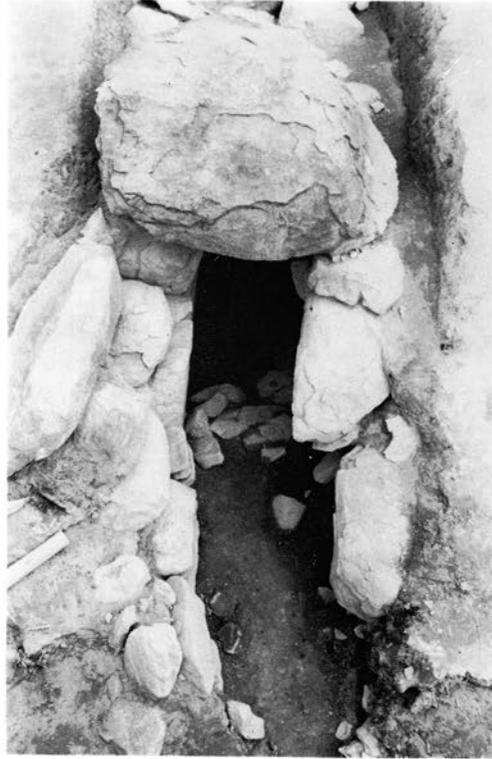
遺物出土状況



方形周溝遺構

## 前 柵 2 号 墳

古墳時代，鎌倉時代  
相楽郡加茂町尻枝小字前柵

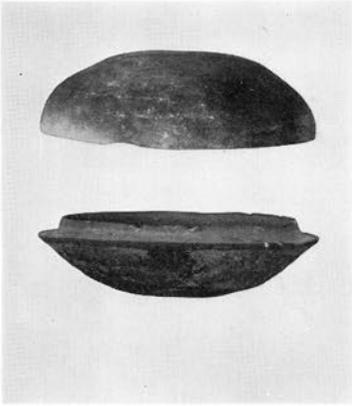


### 〔遺跡の概要〕

前柵2号墳は，相楽郡加茂町尻枝小字前柵に所在する「前柵古墳群」の中の古墳です。

古墳は現在，直径19m，高さ3mを測る円墳で，その裾周囲には数段に積んだ石組（外護列石）がみられ，築造当時の姿を窺い知ることができます。内部主体の横穴式石室は完存しており，羨道部で幅1.1m，長さ6m，玄室で幅1.5m，長さ5.1mの規模をもっています。石室の内には棺台や副葬品，人骨が残っていて，古墳時代の墓制を知ることのできる貴重な資料となっています。

又，前柵2号墳の東側に隣接して鎌倉時代の墳墓10基が発見されました。これらの古墓は標式として，三段の石組基段の上に凝灰岩製の五輪塔や宝篋印塔が立てられていました。墓壙中から火葬や土葬に付された人骨とともに中国製の青磁碗，和鏡，短刀などが出土し，かなり身分の高い人の墓であったことがわかります。



須惠器・杯身，杯蓋



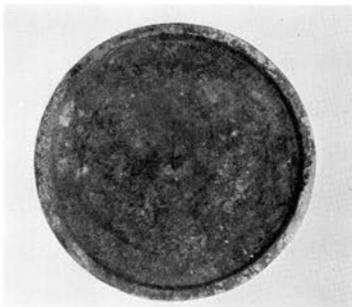
須惠器・長頸壺



須惠器・台付壺



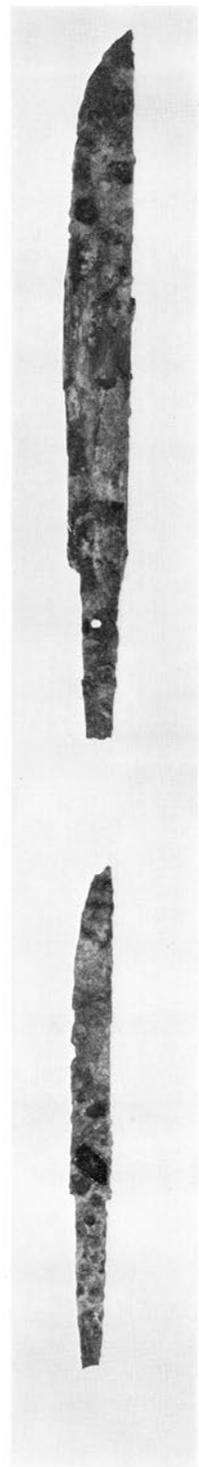
須惠器・甌



蓬萊鏡



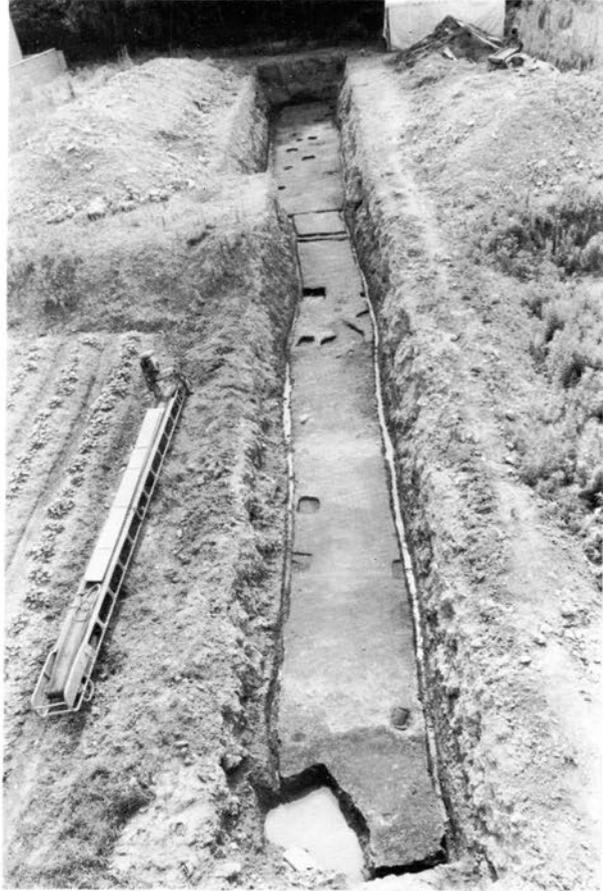
青磁碗



鉄刀

## 長岡京跡右京第76次

古墳時代～平安時代  
長岡京市今里4丁目



### 〔遺跡の概要〕

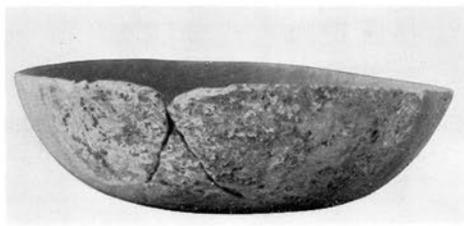
調査地は、長岡京の西二坊大路の側溝や、古墳時代、平安時代などの集落跡が検出された調査地に隣接しています。

調査の結果、古墳時代の竪穴式住居跡、長岡京の西二坊大路の西側溝と思われる南北溝、そして平安時代の掘立柱建物跡や土壇などの遺構が検出されました。また長岡京期や平安時代の遺構面上などに砂の堆積が認められ、この地域一帯が河川の氾濫を受けたものと考えられます。調査地内からは、弥生式土器、古墳時代の須恵器、土師器、そして長岡京期頃や平安時代の須恵器、土師器、瓦、黒色土器などが出土しました。

今回の調査では、長岡京の西二坊大路の西側溝を確認するとともに、古墳時代や平安時代の建物跡を検出し、東側隣接地で検出されている集落跡をより西方で追認したこととなりました。



須惠器・杯身



土師器・深皿



須惠器・杯身



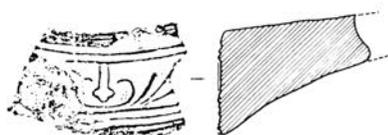
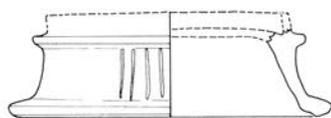
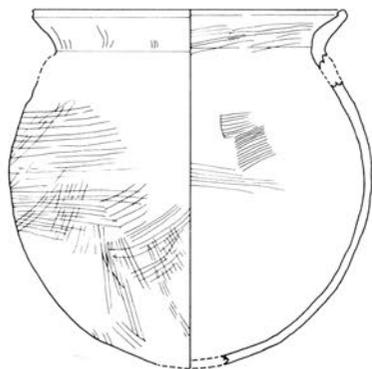
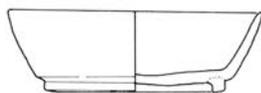
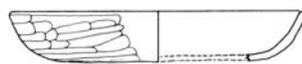
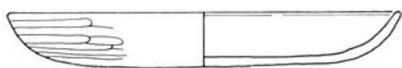
須惠器・杯蓋



土師器・皿



土師器・皿

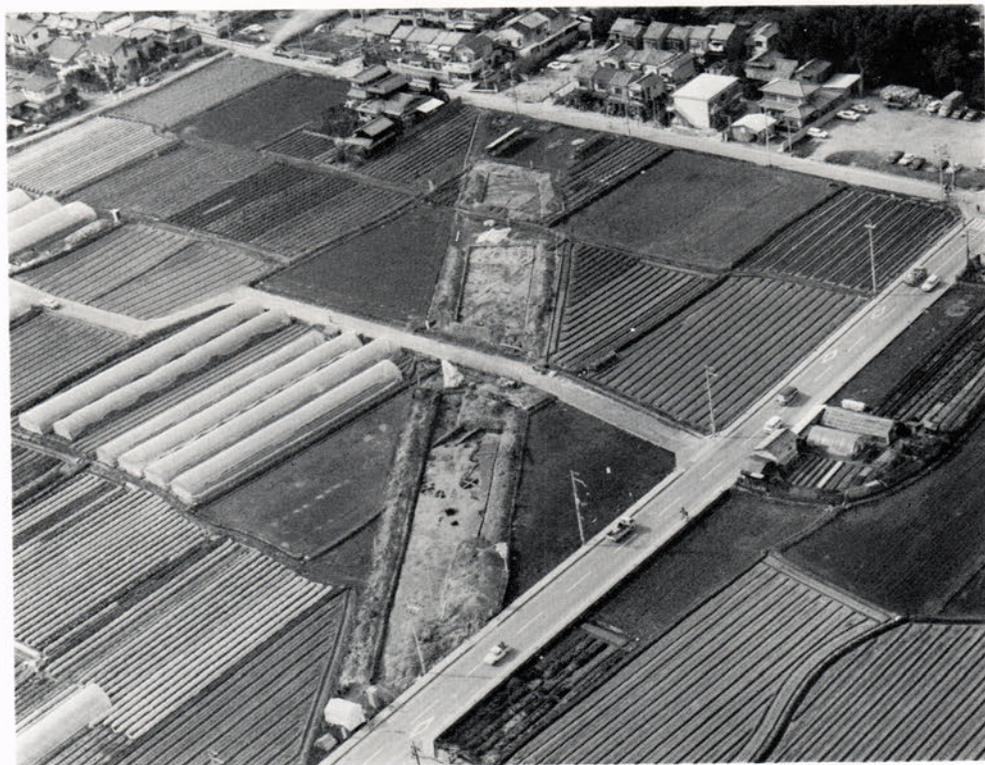


0 6cm

出土遺物実測図(縮尺:1/4)

## 長岡京跡右京第83次

古墳時代～室町時代  
長岡京市長岡，今里



### 〔遺跡の概要〕

調査地は、長岡京跡の推定三条三坊から四条三坊にあたり、弥生時代から中世にかけての集落跡である今里遺跡も重複して存在しています。

調査の結果、長岡京の姉小路（仮称）の側溝のほか、古墳時代の土壌、古墳時代～奈良時代の遺物を多量に含む流路や、奈良時代頃の掘立柱建物跡や井戸跡、中世の大溝などの遺構が検出されました。また調査での出土遺物には、須恵器や土師器の他、中世陶磁器、石製鍋、瓦、土馬、そして若干の石器や金属製品などがあります。

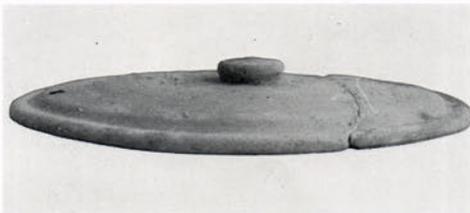
恐らく奈良時代頃には、すでにこの地に集落が営まれていたようです。すぐ東側には乙訓寺や従来検出された古墳時代・平安時代の集落が存在することからも、興味深く感じられます。



須惠器・杯蓋



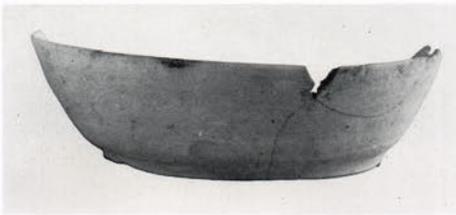
須惠器・杯蓋



須惠器・杯蓋



須惠器・花瓶



須惠器・杯身



土 馬



土 馬

## 長岡京跡右京第84次

弥生時代～平安時代  
長岡京市今里



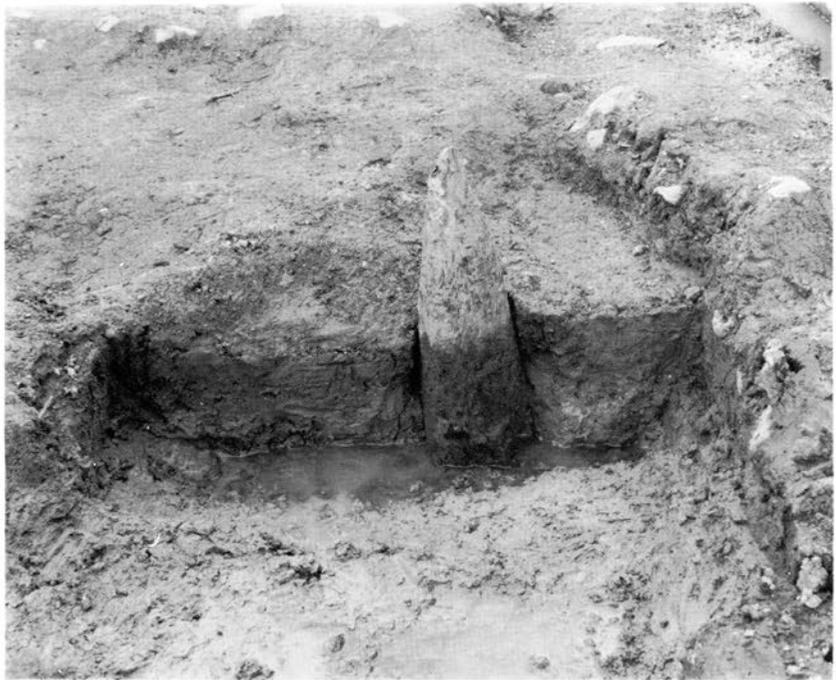
### 〔遺跡の概要〕

長岡京市今里地区では長岡京跡に係る発掘調査が、1977年以来継続実施されています。これまでの調査で、弥生時代、古墳時代の住居跡群、後世の削平により平地化した前方後円墳（今里車塚古墳）、長岡京の道路（西二坊大路、三条坊間小路の側溝）や轍路が発見されています。

この度、今里車塚古墳のくびれ部分に相当する地域を発掘調査しました結果、周濠の上面で南北方向の近代水路跡・中世井戸跡、墳丘基底を廻る柱根と葺石・転落石が確認されました。柱根は4m前後の間隔で立てられていたことがわかっています。特に南側のくびれ部と前方部側では保存状態が良く、古墳の規模を推定する資料を得ることができました。古墳周濠内からは、古墳時代、長岡京時代の笠形木製品や内・外面とも朱が塗られた朝顔形埴輪などの遺物が出土しました。



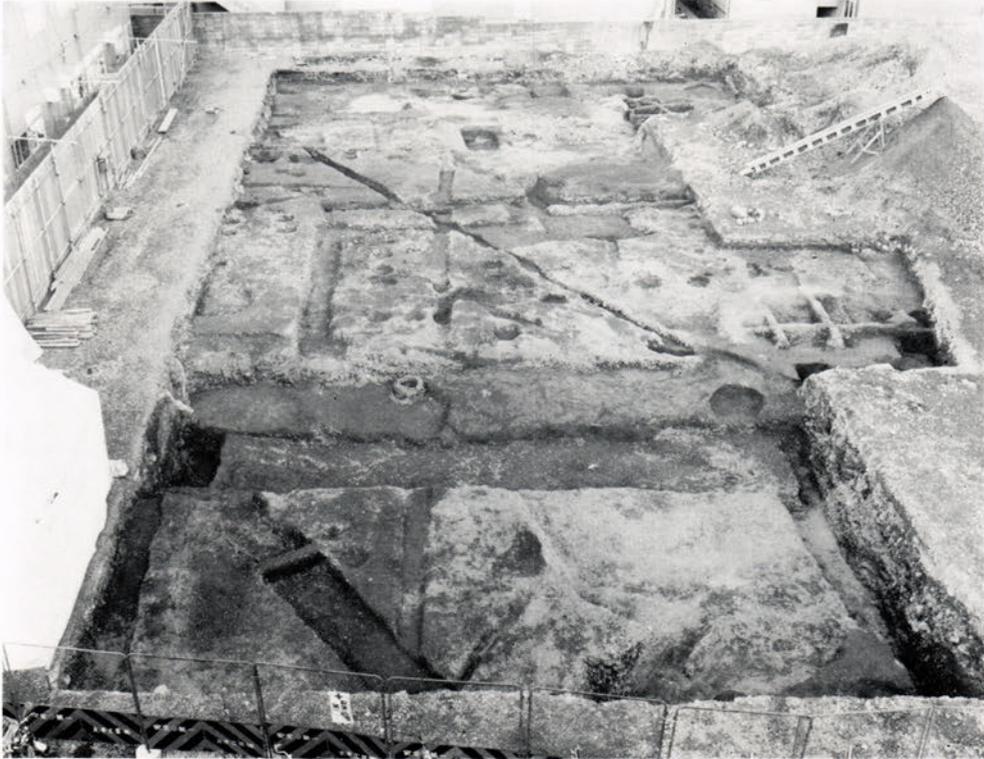
古墳裾部葺石検出状況



柱根検出状況

## 広 隆 寺 跡

飛鳥時代～平安時代  
京都市右京区太秦蜂ヶ丘



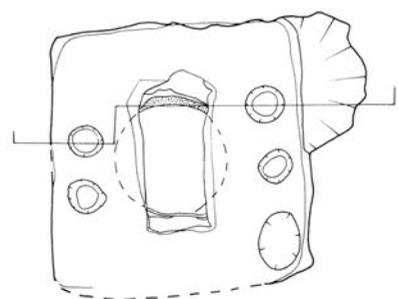
### 〔遺跡の概要〕

京都市右京区太秦にある広隆寺は、蜂岡寺・秦寺・葛野寺とも呼ばれています。『日本書紀』の記載によれば、推古天皇11年（603）に建立された山城最古の寺院のひとつで、秦氏の氏寺とされています。この広隆寺の旧境内の一面を発掘調査したところ、飛鳥時代の軒丸瓦を含む瓦溜、梵鐘を铸造した跡や平安時代前期の溝、土塊と直径1.3mの石を敷き詰めた土塊など多くの遺構・遺物が発見されました。

飛鳥時代の軒丸瓦は、北野廃寺、播枝瓦窯から発見されているものに酷似した、いわゆる高句麗系の素文蓮華文瓦です。特に注目すべき梵鐘铸造跡は、一辺が2.7mの隅丸方形の穴を掘り、底に砂と粘土で梵鐘の型を作り、この型に銅を流しこんで梵鐘を造るものです。穴の中には、銅滓、炭、焼壁、粘土塊などが投げ込まれていました。



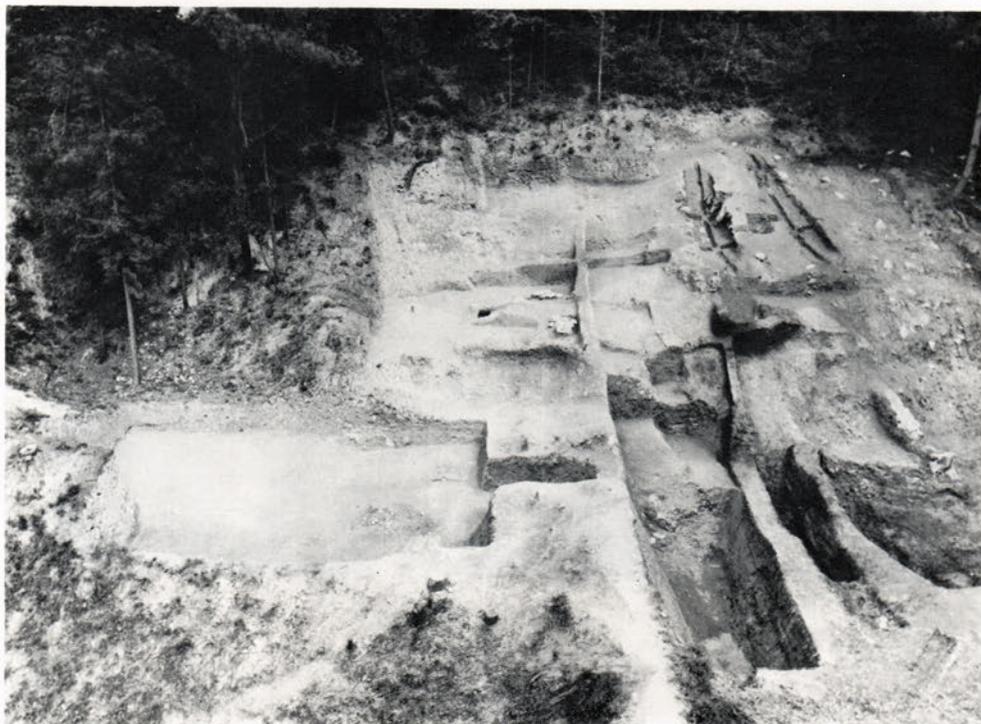
梵鐘鑄造遺構全景



梵鐘鑄造遺構實測圖

## 篠・西長尾窯跡

平安時代  
亀岡市篠町字西長尾



### 〔遺跡の概要〕

亀岡盆地西南部、亀岡市篠町に所在する篠窯跡群には100基以上の須恵器生産窯が分布しています。篠窯跡群の発掘調査は昭和51年から始まり、昭和56年度には小字西長尾に所在する西長尾窯跡群が調査されました。

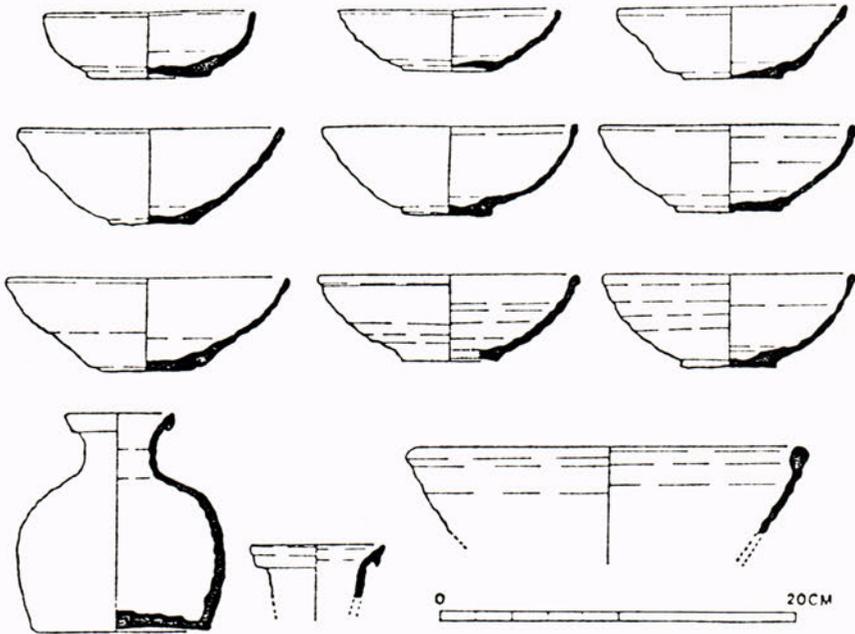
西長尾窯跡群の発掘調査では、丘陵西側斜面に溝を穿ち構築された半地下式登窯（1・3・4号窯）と丘陵裾部平坦面に構築された平窯（5・6号窯）の5基の窯が検出されました。

5・6号窯は、須恵器窯として全国で初めてのロストル（火格子）型式で二重床面の窯です。遺存状態の良い5号窯では、第1次床面より16本の円柱を立て、その上に拳大の粘土塊を敷き、第2次床面を形成していることがわかりました。

1・4号窯は杯・皿・壺・鉢・円面硯が出土し平安時代前期（9世紀前半）、3号窯は杯・椀・壺・鉢があり平安時代中期（10世紀前半）、5・6号窯では椀・壺・鉢があり平安時代後期（11世紀前半）と考えられています。



5号窯跡(左), 6号窯跡(右)



西長尾5号窯窯体内出土遺物

## 大内城跡

平安時代～室町時代  
福知山市大内字平城<sup>じょう</sup>



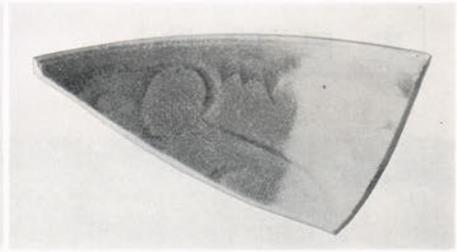
### 〔遺跡の概要〕

大内城跡は、福知山市字大内にある平安時代から室町時代にかけての山城跡です。

調査地は南北100m、東西40～50mで、土塁や空堀で区画した郭（約100m四方）の中央部分に当たります。今から800年ほど前（平安時代末期から鎌倉時代初期）には多くの人々が生活していたらしく、建物跡や食器類（土師器皿や瓦器碗など）が発見され、北東隅から城主の墓所と考えられる小形塚も確認されました。また、かなり裕福であったらしく中国製磁器（碗や皿）も600点以上見つかりました。この点から荘園を管理する荘官の屋敷跡と考えられています。その後1世紀ほどは無人だったのですが、今から650年ほど前に大規模な盛土をして城として造りかえました。そして400年ほど前まで使われていたようで、その頃の食器類も少し発見されています。



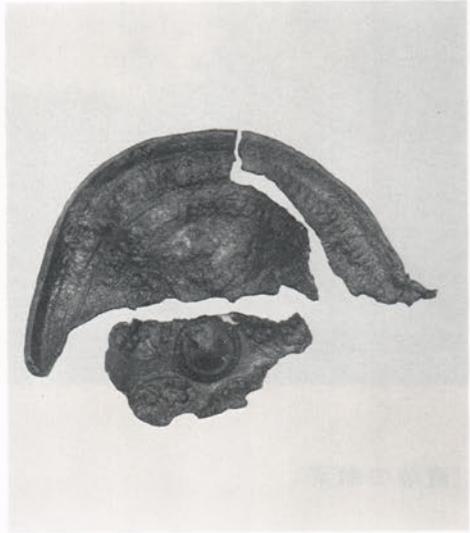
瓦 器・碗



青 磁 碗



古 瀬 戸・瓶子



銅 鏡



須 惠 器・三耳壺



火 葬 骨 埋 納 状 況

## 宮 遺 跡

弥生時代～室町時代  
福知山市宮字城ノ尾



### 〔遺跡の概要〕

福知山市東南部の宮地区は、由良川の支流土師川・竹田川の合流地に当る交通の要衝にあたります。宮遺跡は、土師川右岸の眺望にすぐれた標高60m前後の丘陵先端部に位置しています。

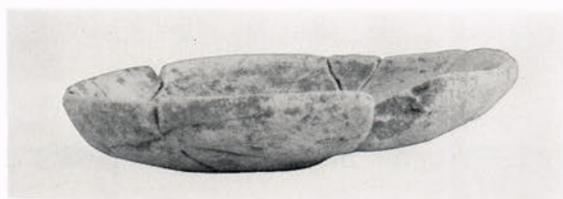
これまでの発掘調査で、弥生時代集落に係る住居跡や方形周溝墓のほか、中世の溝などが検出され、各時代の遺構が、丘陵の広い範囲に広がることが判明しました。さらに、径5m程の円形盛土をもつ中世墳墓3基と礎石建物1棟が検出されました。中世墳墓の埋葬施設には、土葬墓と、火葬骨を甕及び石組遺構に納める火葬墓とがあり、前者の土壌内からは土師器皿や鉄刀子が出土しました。礎石建物も古墓と同時期（鎌倉～室町期）で、墓堂的性格がうかがわれます。これらは、当地の中世の墓制を知るうえに貴重な資料を提供しています。



中世墓全景



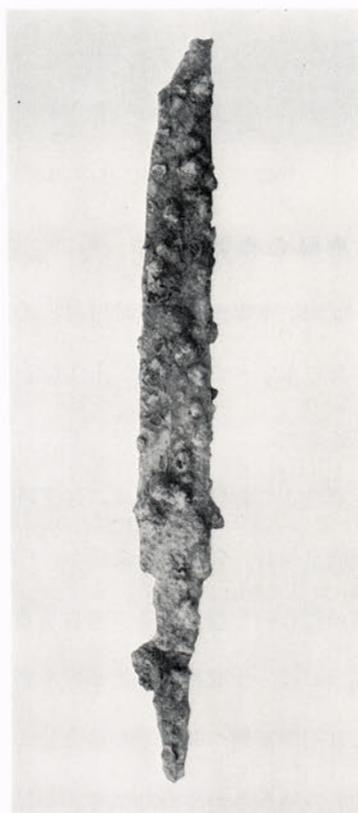
土師器・皿



土師器・皿



土師器・皿



鉄刀

# 展示品出土遺跡位置図



## 昭和56年度調査一覧表

遺跡名	種別	所在地	調査期間	調査担当	概要	出土遺物
1 橋爪遺跡	集落跡	熊野郡久美浜町橋爪	56.8.10～10.3	戸原和人	近世～近代の水田跡、古墳時代初頭の木製品溜まり	古墳時代初頭の木製品340点以上、古式土師器片、近世陶器片、瓦片等
2 下畑遺跡	集落跡	与謝郡野田川町三河内小字下畑	56.9.8～9.11	竹原一彦	遺構なし、一部包含層あり	土師器片、黒色土器片少量
3 中尾古墳	古墳	与謝郡伊根町亀島大浦中尾	56.8.25～10.7	久保田健士	径13mの円墳、無袖式横穴石室、6世紀末～7世紀前葉	須恵器・杯・高杯、鉄刀、鉄小刀、鉄斧、鉄鎌
4 稚児野遺跡	集落跡	天田郡夜久野町井田小字稚児野	56.10.26～11.30	伊野近富	柱穴状ピット、暗渠排水溝、顕著な遺構なし	須恵器片、土師器片、輸入陶磁器片、土錘、天目茶碗
5 豊富谷丘陵遺跡	古墳跡 寺院跡他	福知山市今安、半田、新寺院跡他	56.5.6～57.3.6	松井忠春 竹原一彦 増田孝彦	解説参照	解説参照
6 土師南遺跡	集落跡	福知山市土師南650	56.7.17～7.25	辻本和美	遺構なし	遺物なし
7 大内城跡	山城跡	福知山市大内小字平城	56.5.14～57.3.31	伊野近富	解説参照	解説参照
8 後青寺跡	寺院跡 古墳	福知山市後正寺、小倉ヶ谷	56.8.18～9.18	辻本和美	解説参照	解説参照
9 宮遺跡	古墳	福知山市宮小字城ノ尾	56.10.6～12.25	辻本和美	解説参照	解説参照
10 青野遺跡	集落跡	綾部市青野町西吉美前2-3	57.3.2～3.31	増田孝彦	古墳時代住居跡6棟 古墳時代初頭頃の側溝	弥生式土器、古式土師器 須恵器、土師器、石剣等
11 園部城跡	城跡 古墳	船井郡園部町小桜97	56.7.13～10.19	引原茂治	近世末の築構の側溝 古墳の周溝	近世陶器片、瓦片、土師皿 古墳時代中期の埴輪片
12 千代川遺跡	集落跡	亀岡市千代川町字北ノ庄	56.5.14～8.3	村尾政人 引原茂治	解説参照	解説参照
13 南金岐遺跡	糸里跡	亀岡市大井町字南金岐	56.9.17～57.3.27	村尾政人 引原茂治	解説参照	解説参照
14 篠窯跡群	古窯跡	亀岡市篠町字西長尾	56.6.4～57.3.27	水谷寿克 石井清司	解説参照	解説参照
15 広隆寺跡	寺院跡	京都市右京区太秦蜂ヶ丘	56.7.13～8.20 57.1.12～3.12	石尾政信	解説参照	解説参照
16 平安宮式部省推定地	都城跡	京都市中京区西ノ京式部町1	56.9.21～10.9	石尾政信	遺構なし	軒丸瓦、軒平瓦、平瓦、丸瓦、陶器片
17 平安京左京北辺二坊	都城跡	京都市上京区中立売通小川東入ル	56.9.8～10.30	竹井治雄	中～近世の井戸3基、石室1基、土庫6基、土庫築8基、掘立柱柱穴12個等	金箔軒丸・軒平瓦、平瓦、丸瓦、土師皿等
18 法成寺跡	寺院跡	京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町	56.7.31～10.14	小泉信吾	遺構なし	近世陶器片少量
19 法成寺跡	寺院跡	京都市上京区広小路通寺町東入ル中御堂町	57.3.2～3.31	長谷川達	近世～近代の古藁	近世～近代の陶器、土師皿、人骨、平安時代の軒丸瓦等
20 黄金塚2号墳	古墳	京都市伏見区桃山町遠山50	56.11.20～12.4	久保田健士	顕著な遺構なし	埴輪片、須恵器片
21 長岡宮跡第119次	都城跡	向日市寺戸字南垣内、他	57.3.17～57.3.31	竹井治雄	平安時代の溝、中世の柱穴群、近世の溝・土庫	平安時代～近世の土器類・陶器類等、瓦(軒平瓦、軒丸瓦)
22 長岡京跡右京第76次	都城跡	長岡京市今里4丁目	56.6.5～7.25	山口博	解説参照	解説参照
23 長岡京跡右京第78次	都城跡	長岡京市井ノ内朝日寺	56.8.3～8.18	山口博	顕著な遺構なし	遺物なし
24 長岡京跡右京第79次	都城跡	長岡京市友岡一丁目1-1	56.8.19～8.31	山口博	顕著な遺構なし	近世の陶器片少量
25 長岡京跡右京第83次	都城跡	長岡京市長岡、今里	56.10.26～57.3.25	山口博	解説参照	解説参照
26 長岡京跡右京第84次	都城跡	長岡京市今里	56.11.11～12.26	石尾政信	解説参照	解説参照
27 長岡京跡右京第87次	都城跡	乙訓郡大山崎町下植野五条田他	56.11.15～12.9	竹井治雄	古墳時代の竪穴式住居跡、平安時代～鎌倉時代の掘立柱建物、中～近世の暗渠排水溝等	須恵器、土師器、瓦器等
28 長岡京跡左京第83次	都城跡	向日市上植野字南淀井長岡京市馬塚字北石ヶ町	57.2.8～2.15	竹井治雄	顕著な遺構なし	土師器、須恵器等
29 羽戸山遺跡	集落跡	宇治市菟道字羽戸山、五ヶ庄字一番割	56.7.27～11.14	小山雅人	解説参照	解説参照
30 宮ノ平遺跡	集落跡 古墳	城陽市寺田字宮ノ平、大川原	57.1.21～3.31	大槻真純	解説参照	解説参照
31 狐谷横穴群	古墳	八幡市美濃山字狐谷	57.1.25～3.31	久保田健士	解説参照	解説参照
32 内田山古墳	古墳	相楽郡木津町字内田山	56.9.2～9.28	大槻真純	方形の周溝(幅約1.6m、深さ0.3m)等	各種埴輪片、弥生式土器、土師器、須恵器、土馬等
33 木津遺跡	集落跡	相楽郡木津町木津殿城2	56.7.6～7.22	大槻真純	溝、土庫	鎌倉時代～室町時代の土師皿、瓦器等
34 前櫛2号墳	古墳	相楽郡加茂町尻枝字前櫛	56.12.7～57.2.23	戸原和人	解説参照	解説参照

## 展 示 品 目 録

	遺 跡 名	展示資料名	時 期		遺 跡 名	展示資料名	時 期
1	三河・宮ノ下遺跡	縄文式土器類	縄文時代前期 ～晩期	22	羽戸山遺跡	甕	古墳時代後期
2	〃	石 器 類	〃	23	豊富谷丘陵遺跡	壺	古墳時代前期
3	〃	石製装身具類	〃	24	〃	高 杯	〃
4	〃	土 偶	縄文時代中期	25	〃	器 台	〃
5	千代川遺跡	蓋	弥生時代後期	26	〃	甕	〃
6	〃	壺	古墳時代前期	27	〃	鏡	〃
7	〃	台 付 鉢	〃	28	〃	鏡 片	〃
8	〃	高 杯	〃	29	〃	鉄 剣	〃
9	〃	小型丸底壺	〃	30	〃	鉄 刀	〃
10	〃	椀	〃	31	〃	鉄 鎌	〃
11	〃	緑釉陶器・皿	平 安 時 代	32	〃	経筒外容器	鎌倉時代
12	〃	灰釉陶器・皿	〃	33	〃	插 鉢	〃
13	南金岐遺跡	壺	弥生時代後期	34	〃	蔵 骨 器	〃
14	〃	甕	〃	35	〃	経 卷	〃
15	〃	器 台	〃	36	〃	銅製経筒	〃
16	〃	高 杯	〃	37	宮ノ平遺跡	壺	古墳時代中期
17	〃	鉢	〃	38	〃	杯身・杯蓋	〃
18	〃	石 包 丁	〃	39	〃	埴 輪 棺	〃
19	〃	石 剣 片	〃	40	後青寺跡	杯身・杯蓋	〃
20	羽戸山遺跡	長 頸 壺	〃	41	〃	台付短頸壺	〃
21	〃	甕	〃	42	〃	甕	〃

	遺 跡 名	展示資料名	時 期		遺 跡 名	展示資料名	時 期
43	後 青 寺 跡	把手付土器	古墳時代中期	65	前 櫛 2 号 墳	キ リ コ 玉	古墳時代後期
44	〃	鉄 鍬	〃	66	〃	青 磁 椀	鎌倉時代
45	〃	鉄 斧	〃	67	〃	蓬 萊 鏡	〃
46	〃	鉄 鎌	〃	68	〃	短 刀	〃
47	狐 谷 横 穴 群	台 付 壺	古墳時代後期	69	長岡京跡右京 第76次	甕	平安時代前期
48	〃	台付長頸壺	〃	70	〃	皿	〃
49	〃	無蓋高杯	〃	71	〃	蓋	〃
50	〃	有蓋高杯	〃	72	〃	杯	〃
51	〃	深 皿	〃	73	〃	杯身・杯蓋	〃
52	〃	金 環	〃	74	〃	円 面 硯	〃
53	〃	鉄 刀	〃	75	〃	軒 平 瓦	奈良時代
54	前 櫛 2 号 墳	台 付 壺	〃	76	長岡京跡右京 第83次	杯身・杯蓋	古墳時代
55	〃	長 頸 壺	〃	77	〃	瓶	平安時代
56	〃	短 頸 壺	〃	78	〃	平 瓶	〃
57	〃	広 口 壺	〃	79	〃	蓋	〃
58	〃	無蓋高杯	〃	80	〃	土 馬	古墳時代
59	〃	有蓋高杯	〃	81	長岡京跡右京 第84次	須 惠 器	平安時代
60	〃	提 瓶	〃	82	〃	蓋	〃
61	〃	廳	〃	83	〃	笠形木製品	古墳時代
62	〃	杯身・杯蓋	〃	84	広 隆 寺 跡	軒 丸 瓦	飛鳥時代
63	〃	鉄 鍬	〃	85	〃	〃	平安時代
64	〃	管 玉	〃	86	篠・西長尾窯 跡	壺	平安時代前期 ～後期

	遺 跡 名	展示資料名	時 期		遺 跡 名	展示資料名	時 期
87	篠・西長尾窯跡	杯	平安時代前期 ～後期	96	大内城跡	白磁碗	平安時代後期
88	〃	皿	〃	97	〃	三耳壺	室町時代前期
89	〃	鉢	〃	98	宮遺跡	皿	鎌倉時代
90	平安宮式部省 推定地	軒平瓦	平安時代後期	99	〃	鉄刀子	〃
91	大内城跡	瓦器椀	〃	100	平安京左京北 辺二坊	緑釉軒平瓦	平安時代
92	〃	皿	〃	101	〃	灰釉陶器	〃
93	〃	鍋	室町時代前期	102	〃	黄瀬戸系皿	桃山時代
94	〃	瀬戸瓶子	〃	103	〃	金箔瓦	〃
95	〃	ねり鉢	〃				

考 古 展

**第1回「小さな展覧会」**

—昭和56年度発掘調査の成果から—

昭和57年7月17日～7月31日

発 行 (財) 京都府埋蔵文化財調査研究  
センター

〒602 京都市上京区広小路通寺町東入ル中  
御霊町424番地 Ⅷ(075)256-0416

印 刷 中 西 印 刷 株 式 会 社  
代 表 者 中 西 亨

〒602 京都市上京区下立売通小川東入  
Ⅷ (075)441-3155(代)

